

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		エクシヴ				公表日	2026年 1月 31日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数やスペースは適切であるか。	19					
	2	生活空間や事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされ心地よく過ごせる環境になっているか。	18	1	全体のトイレ誘導の前に個別に声をかけるなど、トイレが混雑しないようにしている。	事業所にトイレが一つしかないため、混雑する時間帯がある。		
	3	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	18					
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	19					
	5	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	18					
	6	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	17	2	日々のミーティング等で支援内容や、課題等について意見交換を行う場を設けています。	意見を言う場はあっても、議論し検討するということがあまりないので、そういった機会を設けるよう工夫をしていく。		
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	19					
適切な支援の提供	8	適切に支援プログラムが作成、公表される予定があるか。	16	1	法令やガイドラインを踏まえ、毎年1月頃に支援プログラムの策定・公表を行っている。	職員への周知が不十分であった点が課題と思われる。今後職員へも支援プログラムの内容について共有を行っている。		
	9	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、個別支援計画を作成しているか。	18					
	10	個別支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	19					
	11	個別支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	19					
	12	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	18	1				
	13	個別支援計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	19					
	14	活動プログラムの立案をチームで行い、固定化しないように工夫しているか。	18					
	15	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる個別支援計画を作成し、支援が行われているか。	18					
	16	支援開始前終了後には職員間で打合せを行い、支援の内容や役割分担などを確認しているか。	17	1	支援前にミーティングの機会を設け、役割分担や支援内容の確認を行っている。	昼礼は特に時間が限られており、十分に議論できない場合がある。		
17	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	18	1	日々の記録を書いて終わりにしないよう、定期的に確認して、日々の支援や計画作成に取り入れていく。				

	18	定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	19			
	19	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	18			
	20	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	18	1	SST活動で事業所内での買い物体験等を行っている。	
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	17	1	児発管や管理者等日々の様子を知っている者2名で参加するようにしている。	
	22	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	15	2	保護者との間で下校時刻等確認するようにしている。現在学校と直接行事予定や下校時刻の確認は行っていない。	
	23	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	14	2	療育センターと連携を取り、療育センターが行う研修に参加している。	
	24	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	14	2	管理者は広島市自立支援協議会の西区部会にメンバーとして運営に関わっており、部会主催の研修等にも積極的に参加している。	
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	16	1	送迎の際や電話連絡、面談等で必要に応じて機会を設け取り組んでいる。	
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	16	1	行政や関連団体からの研修等の案内を保護者へ情報提供している。	
保護者への説明等	27	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	17	1	利用開始前の契約の際に説明を行い、不明点があれば個別に説明するよう努めている。	
	28	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	18			
	29	「個別支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から個別支援計画の同意を得ているか。	19			
	30	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	18	1		
	31	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	17		エクシブカフェを開催し、保護者、兄弟児ともに参加する場を作り、保護者の交流等の場を提供している。	
	32	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	19			
	33	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	19		紙媒体での通信や、HP・インスタグラムを活用し定期的に更新することで、普段の様子や活動内容などを発信しています。	
	34	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	19			
	35	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	19			
	36	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	19			
	37	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	19			

非常時等の対応	38	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作、食物アレルギー等こどもの状況を確認しているか。	19			
	39	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理、家族等との連携が十分された中で支援が行われているか。	19			
	40	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	18			
	41	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	19			
	42	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、個別支援計画に記載しているか。	18	1		